

編輯室の内外

降らざらんとしては降り、降らんとしては蔓り、晴るゝかと見れば忽ち蔓る五月雨。の窓の内鋪たるベンにいそしみつゝ漸く第七号の編輯を了へた。紙價は日々高騰して行き、紙質は漸次低下する。雑誌の刊行もなんばう心苦しい事に覺ゆるなど打ち語らひつゝ校正に目を疲らしたことである。

即戰即決は慢性病的長期抗戦に對し夫れに打勝つの秘訣である。故に今日對國民政府國策は此の外にあるべからざると思はしめらるゝが國家百年の計を樹つる上に於ては慎重熟慮後日の悔を遺すことなからしむるを要す。暫時の昂奮的な剝離的な行動は自肅自戒せねばならぬ。現時の諸事象に直面して之が痛感せしめるらるゝである。歐米諸外國は何時まで我田引水的な行動を續けるであらうか、彼等が迷夢から目醒むるは何れの日ぞや有言不實行より不言實行が必要なるは言ふまでもないが有言實行に無智曇昧の徒が惑はさるゝは甚しきことなるに注意を怠つてはならぬ。外交の事新宇垣外相に望む所切ならざるを得ない。親親を忘れず、子を忘れず神を忘れず」と善哉言である。新文相の眞骨頂を實現せら

れんことを願望す。

内閣は閣員の取替に依つて強化せられたと傳へらるゝが國民一般の強化策は如何、國民總動員法も實施せらるべし、教育の改造も實行すべし、貯金奨勵も施行すべし、要是蔣政權を解體せしめ其の再起の力をも喪失せしむるに在る、斯くすれば外交上のあらゆる難題も内政的困難事も自ら解決すること勿論である。國家民族千鈞一髮の危機に際し青年層が意志薄弱にして生活散漫に流れ鞏固に統制されねば革命事業の達成は不可能である。即ち今日青年に絶対に必要なことは團結一致の精神を以て斷じて倫安を許されない」とは瀕死の蔣介石の悲痛な叫び聲である。

だが青年層をして今日ならしめたのは誰の罪か、念へば何れの國にても剝離的享樂による陷らんとする青年層の精神的覺醒を緊切事と感ぜざるはないであらう。世は非常時である其處で體位向上、集團訓練、敬神崇祖、資源愛護、物價統制、貯金獎勵、町内會結成、勤労奉仕等々を謀議企圖するため會議、集會が次から次へと數珠つなぎの如く連續開催せられ、會議に明けて會議に暮れる此の頃の狀態は關係者をして茶と菓子攻めにせられ、胃腸は障害せられ疲勞は加はる何んとやる瀕がない感がするとは某地方人の歎聲である。議論より實行ではあるまいか。

ドイツ政府は愈々近く總工費七億五千萬マルクを投じライン・マイン・ダニューレの三河を結ぶ大運河を開鑿することに決定した。大運河は一九四五年迄に完成の豫定であるが完成の曉には一千五百トン以下の船舶は自由に北海から中歐を經て黒海に達し得る譯である。歐洲中部に異状あるべき

黄河決渢の現場を親しく視察して其の修理對策に關し本莊立神兩技師は内務省に於ける多年の經驗と其の學識に依り其の卓見を披瀝せらるゝ所があつたと傳へらる。庶幾くは治水の技、禹をして地下に驚嘆せしむる所あらんことを。(洗)

發行所	社團道路改良會	定價一部	五十錢
東京市世田ヶ谷區霞丘一丁目内務省内		一ヶ月分	金六圓
發行兼			
印刷所	電話銀座(57)四二七		
印刷者	東京市小石川區諏訪町五六		
奈良直一	常磐印刷所		
	發行		